

神奈川県立青少年センター開館60周年記念・紅葉坂ホールリニューアルオープン記念公演・第308回神奈川県青少年芸術劇場

2023年7月23日(日) 14時開演

神奈川県立青少年センター紅葉坂ホール

神奈川県横浜市西区紅葉ヶ丘9番地の1

杉原邦生×木ノ下裕一による学校では教えてくれない舞台芸術の解体図鑑

古典芸能の可能性ーWhat's SAMBASO

茂山千之丞「三番三」

出演 茂山千之丞「大蔵流狂言方」

木ノ下裕一「木ノ下歌舞伎」

杉原邦生「演出家・舞台美術家」



What's SAMBASO

笛:野口亮 小鼓:曾和正博、住駒充彦、森貴史 大鼓:河村大



劇場の柿落としなどでよく上演される『三番三』(『三番叟』)とは、どのような演目なのか? “知る” 『三番三(三番叟)』ってどんな演目?木ノ下裕一による『三番叟(三番三)』レクチャー 「どんな内容の演目なの?’ 「なぜ、劇場の柿落としや新年など、おめでたい機会に上演されるの?’ 「これまでどんな上演歴があるの?流派があるの?’など、わかりやすく解説します。

杉原邦生 × 木ノ下裕一による学校では教えてくれない舞台芸術の解体図鑑

古典芸能の可能性ー What's SAMBASO 茂山千之丞「三番三」

“知る” 『三番三(三番叟)』ってどんな演目? 木ノ下裕一による『三番叟(三番三)』レクチャー
 「どんな内容の演目なの?’ 「なぜ、劇場の柿落としや新年など、おめでたい機会に上演されるの?’ 「これまでどんな上演歴があるの?流派があるの?’などわかりやすく解説します。

“考える” クロストーク 木ノ下裕一 & 杉原邦生
 2008年初演以来国内での上演を重ね、2018年には振付・演出ともに大幅な変更を加えたリクレーションバージョンを発表した、木ノ下歌舞伎の代表作『三番叟』。監修を務めた木ノ下裕一と演出・美術を務めた杉原邦生が、舞台写真や記録映像を挟み古典作品の創作についてクロストークを行います。

“観る” 茂山千之丞さんによる『三番三(翁)』の上演
 レクチャーを踏まえ、演目について深く知った後に、囃子方による生演奏と現代的でエネルギー溢れる舞が魅力の千之丞さんによる実演を鑑賞します。

2023年 7月23日(日) 14:00 開演

・開場は13:30より ・未就学児は入場不可

全席指定[税込]
 ・前売一般3,500円
 ・29歳以下1,500円
 (KUNIO official websiteのみ取扱)

一般発売
 2023年6月1日(木)

チケット取扱
 ・チケットぴあ <https://t.jpia/>
 ・KUNIO official website <https://kunio.me>
 (yahoo!パスマーケットのシステムを使用します)



三世 茂山千之丞 [しげやま・せんじょう]

大蔵流狂言方。1983年4月2日生まれ。本名茂山童司。茂山あきらの長男。父および祖父二世茂山千之丞に師事。1986年、『魔法使いの弟子』(NOHO(能方)劇団)で初舞台。1997年『千歳』、2004年『三番三』、2006年『釣狐』を披く。2018年12月「花子」を披き三世千之丞を襲名。2013年夏に自らが作・演出を手掛けるコント公演『ヒャクマンベン』、2014年春に100年後の古典を目指す新作「純」狂言の会「マリコウジ」の両シリーズを始動させる。2014年「釜ヶ崎芸術大学」の講師として狂言を指導し、横浜トリエンナーレの正式招待プログラムで新作狂言を上演。2015年東京芸術劇場、金沢歌劇座で上演のオペレッタ『メリーウィドウ』の脚本・演出を手掛ける。2016年には国際共同制作『三代目、リチャード』(オン・ケンセン演出)に出演、シェイクスピアを演じた。2019年KAAT神奈川芸術劇場「ゴドーを待ちながら(令和 ver.)」(演出:多田淳之介/原作:サミュエル・ベケット)にウラジミール役で出演。語学に堪能でNHKテレビの語学番組「アレキソ英語」に「カウドージ」なるキャラクターでレギュラー出演していたほか、「バイリンガル狂言」を国内外で上演。狂言師の枠をこえて精力的に活動中。第37回京都府文化奨励賞受賞。



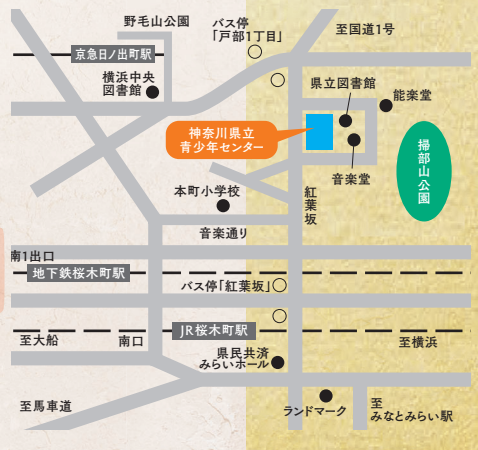
杉原邦生 [すぎはら・くにお]

演出家・舞台美術家。KUNIO主宰。1982年東京都生まれ。2004年、プロデュース公演カンパニー「KUNIO」を立ち上げる。これまでのKUNIOの作品に、上演時間が8時間半にも及ぶ『エンジェルス・イン・アメリカ 第1部「至福千年紀が近づく」』第2部『ペレストロイカ』、最古のテキスト「Q1」バージョンを新訳で上演した『ハムレット』、大学の恩師でもある太田吾吾作品を鮮烈に蘇らせた『更地』、『水の駅』などがある。木ノ下歌舞伎では、『三人吉三』、『東海道四谷怪談一通し上演』など10作品を演出。『三番叟』にてチリ公演、『黒塚』『勸進帳』でフランス・パリより招聘を受けいずれも好評を得た。近年の主な演出作品は、スーパー歌舞伎II『新版 オグリ』(主演:市川猿之助、中村隼人)、シアターコクーン『プレイタイム』(出演:森山未來、黒木華、北尾亘)、PARCO劇場オープニング・シリーズ『藪原検校』(出演:市川猿之助、三宅健、松雪泰子他)、COCOON PRODUCTION2022 NINAGAWA MEMORIAL『パンドラの鐘』(主演:成田凌、葵わかな)、ホリプロ『血の婚礼』(出演:木村達成、須賀健太、早見あかり 他)など。第36回京都府文化奨励賞受賞。



木ノ下裕一 [きのした・ゆういち]

木ノ下歌舞伎 主宰。1985年和歌山市生まれ。小学校3年生の時、上方落語を聞き衝撃を受けると同時に独学で落語を始め、その後、古典芸能への関心を広げつつ現代の舞台芸術を学ぶ。2006年に古典演目上演の補綴・監修を自らが行う木ノ下歌舞伎を旗揚げ。代表作に『娘道成寺』『隅田川』『東海道四谷怪談一通し上演』『糸井版 摂州合邦社』『義経千本桜—渡海屋・大物浦—』など。2015年に再演した『三人吉三』にて読売演劇大賞2015年上半期作品賞にノミネート、2016年に上演した『勸進帳』の成果に対して、平成28年度文化庁芸術祭新人賞を受賞。第38回京都府文化奨励賞受賞。令和2年度京都市芸術新人賞受賞。平成29年度京都市芸術文化特別奨励制度奨励者。渋谷・コクーン歌舞伎、神田伯山の補綴を務めるなど、外部での古典芸能に関する執筆、講座など多岐にわたって活動中。



- ◎ JR根岸線「桜木町駅」北改札西口から 徒歩約8分
 - ◎ 横浜市営地下鉄線「桜木町駅」南1出口から 徒歩約10分
 - ◎ 京浜急行線「日ノ出町駅」徒歩約13分
 - ◎ みなとみらい線「みなとみらい駅」ランドマーク・クイーンズスクエア方面改札 徒歩約20分
- 有料駐車場がございますが、駐車台数に限りがございます。ご来館の際はできるだけ公共の交通機関をご利用ください。

舞台監督: 藤田有紀彦 web: 小林タクシー 宣伝美術: 堀川高志 協力: 童司カンパニー、木ノ下歌舞伎
 制作協力: 中嶋沙弥奈 制作: さかいひろこ プロデューサー: 小林みほ
 主催: 神奈川県/合同会社 KUNIO, Inc.

神奈川県立青少年センター
 紅葉坂ホール
 〒220-0044 神奈川県横浜市西区紅葉ヶ丘9-1
<http://www.pref.kanagawa.jp/div/0230/>

お問い合わせ: 神奈川県立青少年センターホール運営課 045-263-4475